

Easy come,
easy go.

Meishu Hitachi Times

Written by 2-GInanobe,
1-10Sutou,1-2Wakabayashi

No.6 Since 2020

30th October . 2020.

Kaminecho3-2-26 Hitachi City Ibaraki Japan

☎0294-21-6328



恐怖の進路指導部長の実態に迫る！ 好きな食べ物はナス

今年ももう秋になりました。秋と言えば 3年生にとっては進路のことでとても大変な時期でしょう。そこで、今回はいつも私たちの進路について考えてくださっている進路指導部長の栗原先生の素顔に迫るため、いくつかの質問をしてみました。

Q 本校に勤めて何年目ですか？
A 平成8年から勤務しているので、今年で25年目です。

Q 教員になろうと思ったきっかけは何ですか？
A 教員をしていた父親の影響されて教員を目指しました。

Q 高校時代はどのような生徒でしたか？
A 比較的明るい生徒だと思います。今でも交友関係があるのは高校時代の友人たちです。高校では良い友人たちに恵まれ、とても充実した高校生活でした。

Q 好きなスポーツは何ですか？
A 中学と高校の途中までバレーボールをやっていましたが、好きではありませんでした。スポーツ自体が好きではありません。唯一好きなスポーツを挙げるとしたら、モータースポーツという車のスポーツです。将来は自分もやってみたいと考えています。

Q 好きな食べ物は何ですか？
A なす、パプリカ、レンコンです。
Q 学生時代の苦手な科目は何ですか？
A 化学は本当に苦手でした。あと社会系も苦手でした。
Q これまで一番嬉しかったこと、辛かったことは何ですか？
A 一番嬉しかったことは、自分の子どもが生まれたことです。今、中学校1年生と小学校5年生の2人の子どもがいます。一番辛かったことは、教員になって初めて担任をもった一年です。
Q 進路を考えるうえで大切なことは何ですか？
A 将来自分がどのように生きたいか、どのような生活をしていたら幸せなのかを考えておくことです。そのために、社会の仕組みがある程度は知っておくべきだと思います。

Q 最後に、「怖さ」の秘訣は何ですか？
A 正直、なんで怖いと思われているのかはわかりません。以前は意図的に怖さを出していた時もありましたが、今は特にそう思われたいわけではないので心外です。

本校の卒業生で、今は教職員として明秀日立で働く方々や、現役生で栗原先生の授業を受けている生徒の皆さんにも話を聞きました。卒業生の稲葉先生は「生徒の時は、授業も教わったこともないし、話したこともないが、雰囲気怖かった。笑顔の印象はない。同じ教員となった今でも、恐怖心はある。しかし、授業を受けていた同級生たちは、怖いけど、授業がわかりやすいと言っていた。」と当時を振り返る。

同じく卒業生で現在は事務職として勤務している鈴木さん(旧姓・照彦)は、「血の通った人だとは思ってなかった。授業中の冗談も笑っていいのかわからなかった。社会人になって明秀に戻ってきたとき、以前に比べて柔らかい雰囲気になっていて驚いた。でも、スーツをいつもぴっちりきいて格好いいのは昔から変わらない。」と話す。

また、1年次から数学を教わっている3年5組の楠原秀翔さんは、「1年生の頃は特に威圧感が強く、怖くて、逆らえないし、一方的に言う事を聞く感じで、栗原先生がいる進路指導室に入ることさえ嫌でした。今は、会話ができるように、以前よりは言いたいことが言えるようになりました。今は怖くはありません。良い緊張感で授業に取り組めて、『勉強している』という充実感を最も持てる時間が栗原先生の授業です。」とこれまでの2年半を振り返って話した。「いつも熱心にご指導して下さることに本当に感謝しています。心から尊敬する大人の一人です。」と付け加えた。

現在、数学を教わっている1年5組の生徒たちでも「怖い先生」の第一位にランクインした。しかし、同

時に、授業がわかりやすい、という感想が半うのは、世代を問わず、栗原先生の授業を受けた生徒は同じである。

栗原先生とは今まで直接関わったことはないが、今回のインタビューを通して栗原先生のいろいろなことを知ることができた。また、質問に答えてくださっただけでなく、私の進路について一緒に考えてくれた。ありがとうございました。皆さんも進路について悩んだら、進路指導室へ、覗き込んで勇気を振り絞って行ってください。

(2年6組 稲葉 誠)



生徒会本部役員決定 全コースから選出 会長は5期連続サッカー部

次期生徒会本部役員の選挙の季節がきた。例年は7月実施していたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止策が施されたうえでの9月の実施となった。体育館で一斉に行っていた集談会、投票は、演説内容を事前に録画した映像の放送後、各教室での実施となった。今年、生徒会本部役員への立候補者が近年の中では最多となり、選挙に盛り上がりを見せた。

その中から見事選出された7人に話を聞いた。

新会長:長谷川悠翔(2年5組)

現状でも楽しく高校生活を送っているが、コース間での交流ももっとあるとさらに楽しい高校生活になると思う。特に私は、より高校生活を送りやすい服装について改善していきたいと考えています。

新副会長:藤山ゆりあ(2年5組)

今回の生徒会本部役員は、ST・Sコースの方が多くいるので、すべてのコースの視点から意見を出し合っていけることに楽しみを感じています。球技大会など、他校でやっている魅力ある活動を本校でも取り入れていきたいです。

新副会長:池田康景(2年4組)

「見える生徒会」をつくっていきたくです。今回、生徒会本部役員の一員に選んでいただき、加わることとても幸運に思います。会長の補佐を頑張っていきたい。

新書記:坂本美空(2年2組)

現在の生徒会の課題として、生徒の声が生徒会本部に届きにくい、という点があります。生徒の皆さんのアイデアを、本部をはじめ全校に共有する取り組みを実践していきたいです。

新書記:高橋菜留(1年2組)

様々なことに挑戦する姿勢を大事にしています。学校の役に立てるように、自分なりに研究を進めていきたいです。

新会計:國井柚里(1年1組)

生徒会役員の方々とは、日常生活では話す機会の少ない人たち

ある。選挙権が18歳に引き下げられ、私たち高校生にも、政治への関心が求められている。今回を機に、「政治」「選挙」への関心が高まって欲しい。(1年10組 須藤)

◆過去10年生徒会長

- 2011年度 小原伸夫 (Sコース)
- 2012年度 荒木 藍 (Sコース)
- 2013年度 砂川 隼樹 (A吹奏楽)
- 2014年度 青木良平 (Aサッカー)
- 2015年度 北野舞空 (Aバスケット)
- 2016年度 平井雅大 (Aサッカー)
- 2017年度 成島宏宏 (Aサッカー)
- 2018年度 小野伊樹 (Aサッカー)
- 2019年度 佐藤大治 (Aサッカー)
- 2020年度 長谷川悠翔 (Aサッカー)

注目の国内留学 British Hills



本校では9月26日に前旗終業式が行われました。28日から30日までの3日間の学期末休業を利用し、1学年STコース生の希望者を中心に福島のブリティッシュヒルズへの宿泊学習を実施しました。「パスポートのいらない英国」をコンセプトに中世英国を体験できる施設です。

参加動機は「英語での日常生活を送ってみたいかった」「コースディナーの写真に魅かれた」など様々。実際に訪れてみると、ドラマ「花より男子」の道明寺のロケ地ともなった建物も、異国情緒漂い、国内にいることを忘れさせます。食事はすべて美味しく、中でもローストビーフに感動した生徒も多くいました。本題の英会話力養成では、ネイティブスピーカーの方と接する機会が多く、授業もわかりやすかった、と好評でした。引率した石川先生に話を聞きました。「グローバル化が進んだ今、異文化への理解と、英語でのコミュニケーション力が不可欠です。1年生にとっては、来年度実施を予定しているカナダへの修学旅行の事前学習としてもふさわしいと考えます。『間違ってもいいから英語を使ってみよう』と自主性を刺激される、素晴らしい環境でした。多様性と異文化理解の必要性を実感できる貴重な体験でした。」施設内では、結婚式も挙げられるようです。あなたも、福島県で英国留学を体験してみたいかがでしょうか。(1年2組 若林)